

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	ミサイルシミュレータ（改）の研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成17年10月～18年3月

事業の内容 高い機動性を有する赤外線画像誘導方式のミサイルを評価するための試験評価/最適化システムとして、HWIL（HardWare In the Loop）シミュレーション技術に関する研究を実施した。	13	14	15	16	17	18	完了年度	
	← 研究試作 →							17年度
								研究経費
	← 所内試験 →							約18億円

評価の内容

事業の目的 各種誘導弾の誘導制御技術の高度化に対応するため、赤外線画像誘導方式のミサイルの試験評価/最適化システムとしてのHWILシミュレーション技術に関する技術資料を得ることを目的とした。	達成状況 達成効果 HWILシミュレーションに関する以下の技術を取得した。 ア 赤外線画像発生技術 イ 赤外線画像シミュレーション化技術 ウ 飛しょう体運動模擬技術 エ 既存のミサイルシミュレータへの組込技術
達成時期 平成13年から研究試作に着手し、平成15年度から所内試験を実施し、平成17年度に終了した。	教訓等事項 本事業と諸外国のシミュレータを比較すると、目標の赤外線画像を模擬したシミュレーション試験が実施可能であるものは米国のみであるが、本事業で模擬できる赤外線目標の複雑さは米国と同等或いはそれ以上の能力を有すると推察できる。

今後の対応

今後は、ミサイルシミュレーション（改）を赤外線画像シークの研究開発に活用する。	その他の参考情報 （空欄）
-----------------------------------------	-------------------------